

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0201	政策名	環境の保全	施策主管課	生活環境課	課長名	松原 弘明
政策の目指す姿	豊かな自然と生活環境を守り暮らしています						
施策No	04	施策名	循環型社会の構築	関係課名	清掃センター		
施策の目指す姿	物を大切に使い、ごみの減量化に取り組んでいます						
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 本市におけるごみの年間排出量は、ほぼ横ばいで推移しています。 不法投棄によるごみの回収量は、ほぼ横ばいで推移しており、不法投棄が後を絶たない状況です。 						

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ごみ分別の徹底や再資源化のほか、生ごみの水切りによる減量について、引き続き公衆衛生組合連合会と連携し周知に努めるとともに、出前講座、広報・市ホームページ等を通じた啓発活動を実施し、より一層のごみの減量化に努める。 ごみ減量アドバイザーを活用したごみ集積所での分別指導のほか、資源化の推進のため、資源集団回収団体の設立支援、回収資源の拡大に係る啓発を強化する。 事業系ごみの適正な分別及び資源化について周知するとともに、直接事業所を訪問し、排出状況の実態把握及び産業廃棄物の適正処理の呼びかけを行う。 不法投棄の監視強化と防止啓発を図るため、不法投棄監視員を設置し、公衆衛生組合連合会及び警察署と連携を図り、パトロールを強化する。
反映状況	<ul style="list-style-type: none"> ごみ分別の徹底、再資源化、生ごみの水切りによる減量について、出前講座、広報、市ホームページ等を通じた啓発活動の実施や、小学校において出前授業を実施(5校)し、ごみ分別の重要性について意識啓発を行ったが、家庭系可燃ごみの排出量は、前年度より増加した。 ごみ減量アドバイザーによるごみ集積所の実態調査及び分別指導を実施し、ごみの適正排出の呼びかけを行った。また、出前講座において、雑誌等の資源回収品目の拡大の呼びかけを行ったことから、家庭ごみの資源化率は、前年度の実績値を上回った。 事業系ごみの適正な分別及び資源化について、事業者向けリーフレットを作成し市ホームページで啓発を行ったほか、一般廃棄物処理業許可業者に対し、リーフレットを活用した事業所への適正排出の呼びかけについて協力を依頼した結果、事業所からの排出量が減少した。 不法投棄監視員による監視活動のほか、公衆衛生組合連合会、県、警察署と連携を図り、不法投棄の早期発見・回収に努めた結果、回収量の減少につながった。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)ごみの減量対策	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別啓発 <ul style="list-style-type: none"> 家庭ごみ収集分別表及び収集カレンダーの作成、出前講座及び小学校出前授業の開催、広報等による啓発を実施 3R(ごみの発生抑制、再利用、再生利用)の推進 <ul style="list-style-type: none"> ごみの分別収集効果を高めるため、資源集団回収団体に対し奨励金の交付や車両の貸し出し等を実施 ごみ減量アドバイザーを設置し、ごみ集積所の実態調査及び現場での分別指導を実施 生ごみの減量推進 <ul style="list-style-type: none"> 出前講座等における水切り啓発、食品ロス削減に係る3010運動の啓発を実施 事業系一般廃棄物のリサイクル化への推進 <ul style="list-style-type: none"> ごみの有料化を含めた減量化施策の調査研究
(2)廃棄物の適正な処理	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市町との安定的かつ経済的な廃棄物の処理 <ul style="list-style-type: none"> 岩手中部クリーンセンターにおいて、花巻市、北上市、遠野市、西和賀町から排出される燃やせるごみの共同処理を実施 清掃センターと最終処分場の適正な管理
(3)不法投棄の防止	<ul style="list-style-type: none"> 啓発活動とパトロール体制の強化

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
市民一人当たりの一般廃棄物排出量(家庭系)	家庭ごみの排出状況を示す指標	年度におけるごみ処理施設(清掃センター・岩手中部広域行政組合)搬入量を人口数で除した数値 =年間搬入量(可燃ごみ+不燃ごみ)/人口数	kg	目標値		168.00	164.10	160.20		
				実績値		167.20	166.20	169.30		
市内全事業所の一般廃棄物排出量(事業系)	事業所のごみ排出状況を示す指標	年度におけるごみ処理施設(清掃センター・岩手中部広域行政組合)への事業系搬入量 =年間搬入量(可燃ごみ+不燃ごみ)	t	目標値		12,508.00	12,115.00	11,722.00		
				実績値		11,471.00	11,021.00	10,862.00		
一般廃棄物のリサイクル率(家庭系)	家庭での分別・リサイクルの取り組みを示す指標	リサイクル率=(資源集団回収量+資源ごみ)/総排出量(家庭系排出量+資源集団回収量)	%	目標値		23.40	23.60	23.80		
				実績値		29.90	28.50	28.60		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「市民一人当たりの一般廃棄物排出量（家庭系）」・・・【達成度 b】 家庭系の市民一人当たりの排出量は、近年横ばい傾向となっているが、前年度より排出量が増加した。前年度と比較して年度末のごみ排出量が大きく増加したことから、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛の影響により、片付けごみ等が増えたものと考えられる。</p> <p>成果指標「市内全事業所の一般廃棄物排出量（事業系）」・・・【達成度 a】 事業系の排出量は、近年減少傾向を示しており、排出事業者に対する廃棄物処理組合及び一般廃棄物収集運搬許可業者を通じた分別啓発等の取り組みにより、産業廃棄物と一般廃棄物の適正分別が進んでいるものと考えられる。</p> <p>成果指標「一般廃棄物のリサイクル率（家庭系）」・・・【達成度 a】 平成28年度から岩手中部クリーンセンターで発生した焼却灰を資源物としてカウントしていることから、リサイクル率は高い水準となっている。一方で、店頭回収によるリサイクルの取り組みが進んでいることもあり、資源集団回収量は減少傾向となっている。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・（ごみ処理事業）ごみの適正処理の推進、処理費用の削減を図るため、ごみ減量アドバイザーを活用したごみの減量を進めていく必要がある。 ・（再資源化推進事業）家庭から排出される燃やせるごみの中に、資源化が可能な紙類が多く含まれていることから、資源集団回収を通じた紙類等の再資源化をより一層強化していく必要がある。 ・（不法投棄防止事業）市内全域において、不法投棄が依然として発生している状況であることから、良好な生活環境の保全のため、不法投棄の未然防止及び早期発見に努める必要がある。
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭から排出される可燃ごみは昨年度増加している。可燃ごみは岩手中部クリーンセンターにおいて処理を行っているが、構成市町からのごみの搬入量に応じた処理経費の負担が発生することから、ごみの分別、生ごみの水切り等によるごみの減量対策や再資源化により、一層のごみ排出削減に努める必要がある。 ・家庭から排出される可燃ごみに含まれる紙類等の資源ごみが多いことから、これらの資源ごみを資源集団回収などで排出する必要がある。 ・不法投棄が依然として発生している状況であり、良好な生活環境の保全のため、不法投棄の未然防止及び早期発見に努める必要がある。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別の徹底や再資源化のほか、生ごみの水切りによる減量について、引き続き公衆衛生組合連合会と連携し周知に努めるとともに、ごみ減量アドバイザーによる出前講座や広報、市ホームページ等を通じた啓発活動を実施し、より一層のごみの減量化に努める。また、小学校の出前授業を継続し、小学生に対するごみ減量及び環境保全に係る意識啓発を行う。 ・家庭から排出される可燃ごみに含まれる紙類等の資源ごみについて、再資源化のため、資源集団回収の回収品目の対象となるものを掲載したチラシを作成し、各家庭に対し再資源化の呼びかけを行う。 ・不法投棄監視員の設置及び公衆衛生組合連合会等関係機関との連携により、不法投棄防止に係る啓発及び監視活動を実施する。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
			直結度		
010	不法投棄防止事業費	生活環境	一致	間接・補完	A
	公衆衛生組合連合会等と連携した不法投棄防止看板の設置(18枚)、不法投棄監視員の設置(5名)、不法投棄ごみの回収(2.2t)、不法投棄パトロールの実施(122回)			B	
020	再資源化推進事業費	生活環境	一致	直結	B
	3R運動(ごみの発生抑制、再利用、再資源化)の推進及び資源回収団体への支援(394団体)			A	
030	ごみ処理事業費	生活環境	一致	直結	B
	家庭ごみ分別表、カレンダーの作成・配布や岩手中部広域行政組合への負担金の支出、花巻温泉廃棄物処理組合が実施する廃棄物処理事業に対する補助			A	
040	ごみ収集運搬事業費	清掃センタ	間接・少数	間接・補完	B
	家庭から排出されるごみを収集し、燃やせるごみは岩手中部クリーンセンターで、燃やせないごみ及び資源ごみは、清掃センターにおいて処理を実施(ごみ収集量17,020t)			C	